

p53 protein regulates Hsp90 ATPase Activity and Thereby Wnt Signaling by Modulating Aha1 Expression

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 岡山, 幸代 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31341

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2876 号	氏 名	岡山 幸代
審 査 委 員 会	主 査 教 授	高桑 雄一	
論文審査の要旨 (400 字以内) 本論文で岡山らは癌抑制遺伝子 p53 による新しい Wnt 経路制御機構の解明を意図した。その根拠は明確で、多くの大腸癌における p53 の mutation と Wnt 経路活性化の関連の事実に基づいている。 実際の研究は、岡山の留学先 (Weil Cornell Medical College) で概ね適切に実施された。即ち、p53 を欠失、発現、安定化させた大腸癌細胞を用い、Wnt 経路の種々の因子や標的分子の増減を測定した。 得られた結果は科学的見地から概ね妥当で新規な知見である。即ち、p53 欠失により Hsp90ATPase が活性化され、akt 等のリン酸化を介して Wnt 標的遺伝子の発現を促すことが示された。重要なことはこの事実が p53 の本来の機能の低下に起因することである。これらの結果は、大腸癌の予防や治療に新たな端緒を開く臨床的視点からも意義は大きい。 審査委員会は主査、副査 (2 名) とともに、本研究内容を高く評価するとともに、岡山幸代が博士 (医学) に相当する能力を有すると判定した。 本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]			